

2022年 第21回

西部日本訓練チャンピオン決定競技会 及びドーベルマン単独審査会

拝啓、皆さまには御愛犬共々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、2022年西部日本訓練チャンピオン決定競技会及びドーベルマン単独審査会を当支部において下記のとおり開催いたします。犬友各位の多数のご参加をお待ちしております。

主 催	公益社団法人日本警察犬協会 宮崎中央支部
後 援	九州・沖縄公認訓練士会 九州・沖縄支部連合会 九州ドーベルマンクラブ
日 時	令和4年11月20日(日) 午前8時受付開始
会 場	宮崎市大塚町大淀川市民緑地(宮崎大橋から平和台大橋までの河川敷) (ドーベルマン単独審査会は、宮崎大橋の下流を使用する)
受付場所	宮崎大橋西詰高架下駐車場(グーグルマップ設定：小松河川敷)
出場料	1科目につき 10,000円
申込締切	<u>令和4年11月5日(土)</u> ※当日申込は出来ません。 ※申込後の出場取消は3,000円いただきます。 ※FAXでの申込の方は必ず電話で着信の確認をして下さい。
広告募集	広告料金 普通広告 1頁 5,000円 カラー広告 1頁 10,000円
出場申込所	〒880-1104 宮崎県東諸県郡国富町大字田尻大迫 1188 宮崎中央支部 山田 一 TEL 0985-75-9770 Fax 0985-75-9791

審査員	日本警察犬協会本部審査員
参加資格	日本警察犬協会登録犬及び他犬種(犬種問わず) ※同一犬で何科目でも出場できます。(但し1部出場犬は2部には出場できません。)
出場指導手	日本警察犬協会の会員及び公認訓練士とその助手、アマチュアは自己の所有犬とする。
入 賞	各部100点満点で、95点以上の最高得点にチャンピオンの称号を与え、90点以上を入賞とする。
賞 品	出場犬全犬に賞状及び賞品を贈呈します。 ※1部のCH犬には持ち回りの優勝旗を授与します。
協力賞	5頭以上申込の訓練所には協力賞をさしあげます。
競技科目	別紙 1部はプロ、アマの区別はありません。 2部、3部、4部はプロ、アマ別にお申し込みください。

注) 新型コロナ対策として、会場内では競技中以外は必ずマスク着用をお願いします。

注) 全科目とも強制首輪の使用禁止、伝染病犬の入場の禁止、発情犬は受付時に届けてください。

注) 当日会場に於いて人畜の危害に関しては、その犬の所有者の責任と致します。またゴミ等々は各自で責任をもって持ち帰るようよろしくお願い致します。

西部日本訓練チャンピオン決定競技科目

- | | |
|-----------------------|----------------------------------------------|
| 1 部足跡追及の部(1-S) | 日本訓練チャンピオンに準ずるが一部変更省略することがある。 |
| 1 部臭気選別の部(1-A) | 日本訓練チャンピオンに準ずるが一部変更省略することがある。 |
| 2 部足跡追及の部(2-S)(プロ・アマ) | P S H-1 の訓練試験科目に準ずる。
(休止省略・印跡は第三者の場合もある。) |
| 2 部臭気選別の部(2-A)(プロ・アマ) | P A H-1 の訓練試験科目に準ずる。(休止省略) |
| 2 部警戒の部(2-B)(プロ・アマ) | P B H-1 の訓練試験科目に準ずる。(休止省略) |
| 3 部服従の部(3-O)(プロ・アマ) | 警察犬種・警察犬種以外
2部の服従作業に準ずる。 |
| 4 部服従の部(4-G1)(プロ・アマ) | 警察犬種・警察犬種以外
G1 訓練試験科目に準ずる。(休止省略) |
| 4 部服従の部(4-G2)(プロ・アマ) | 警察犬種・警察犬種以外
G2 訓練試験科目に準ずる。(飛越・持来・休止省略) |

※2部、3部、4部服従はネットにて囲いをします。

※服従は手袋の使用を禁止します。

※全クラス、強制首輪の使用を禁止します。

競技科目(服従)詳細

2部・3部服従

①紐無脚側行進

出発地点で脚側停座させ紐を外す。紐は、出発地点に置くか又は指導手の肩か首かに掛ける。審査員の指示により往路は常歩で進む。D-E間は、緩歩で進む。終点において右回りで回転して折り返し、止まることなく復路は速歩にて出発地点に戻り、反転して脚側停座させる。

②停座及び招呼

出発地点で脚側停座させ、審査員の指示により、常歩で進みA地点で犬に停座を命ずる。命ずる際には指導手は速度を変えずに停座を命じ、指導手のみ常歩でC地点まで進み犬と対面し、審査員の指示により犬を招呼する。犬は直前に来たら対面停座させ、審査員の指示により脚側停座させる。

③伏臥及び招呼

C地点で脚側停座させ、審査員の指示により、常歩で進みB地点で犬に伏臥を命ずる。命ずる際には指導手は速度を変えずに伏臥を命じ、指導手のみ常歩で出発地点まで進み犬と対面し、審査員の指示により犬を招呼する。犬は直前に来たら対面停座させ、審査員の指示により脚側停座させる。

④立止

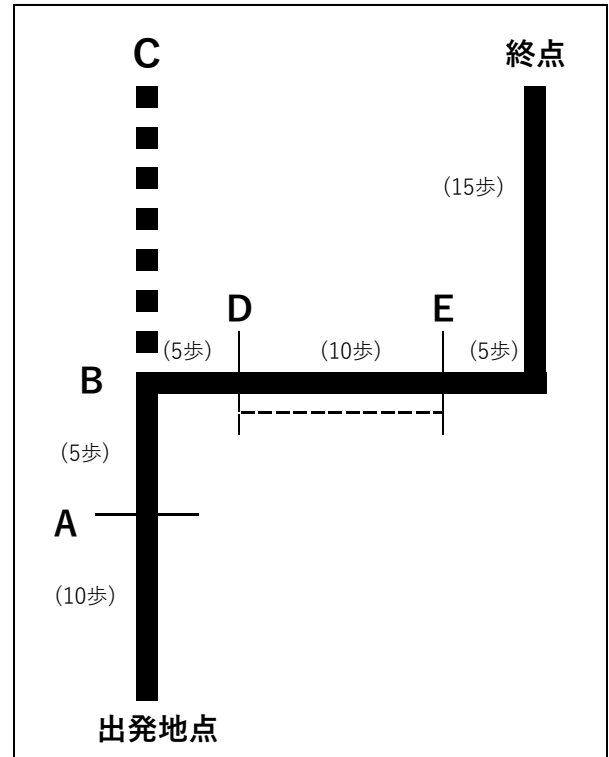
出発地点で脚側停座させ、審査員の指示により、常歩で進みA地点で犬に立止を命ずる。命ずる際には指導手は速度を変えずに立止を命じ、指導手のみ常歩で進みC地点で折り返し、常歩で犬のもとに戻り、立止している犬の後を回り、右側に立ち審査員の指示により、脚側停座させる。

⑤持来

出発地点で脚側停座させ、審査員の指示により、ダンベルを前方7m以上に投げ、ダンベル静止後、審査員の指示により犬を出発させダンベルを持来させる。犬が戻って来たら、対面停座させ審査員の指示により正面で受け取り、審査員の指示により脚側停座させる。

⑥障害飛越

障害から任意の地点で犬を停座させ、審査員の指示により犬のみを出発させて障害を飛越させた後、立止をさせる。審査員の指示により、指導手は犬の右側に立ち、審査員の指示により脚側停座させる。



【2部・3部】

G1 の部

①紐付脚側行進

出発地点で紐付きで脚側停座させ、審査員の指示により往路は常歩で進み、終点において右回りで回転して折り返し、止まることなく復路は速歩にて出発地点に戻り、反転して脚側停座させる。

②紐付立止

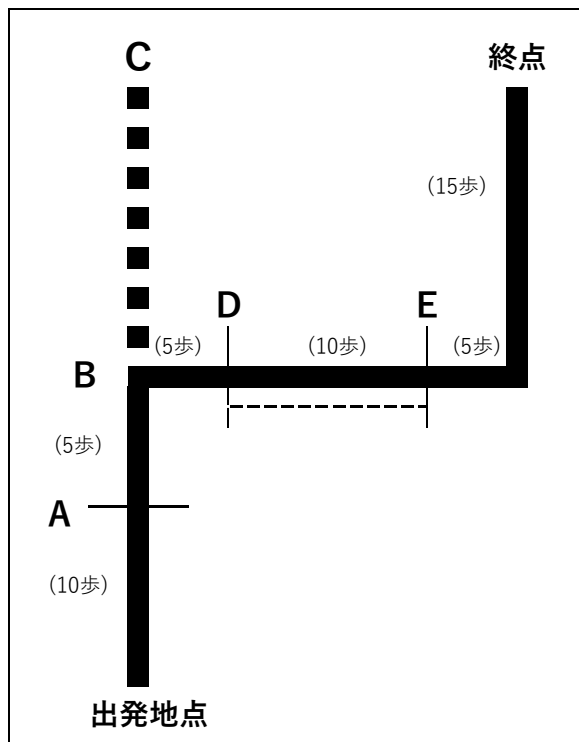
出発地点で紐付きで立止させ、指導手は紐の末端を持ち、審査員の指示により犬を中心にその周辺を右回りと左回りとで各 1 回まわり、審査員の指示により停座させる。

③紐無脚側行進

出発地点で脚側停座させ紐を外す。紐は、出発地点に置くか又は指導手の肩か首かに掛ける。審査員の指示により往路は常歩で進み、終点において右回りで回転して折り返し、止まることなく復路は速歩にて出発地点に戻り、反転して脚側停座させる。

④停座招呼

出発地点で脚側停座させ、審査員の指示により指導手だけ常歩で A 地点まで進み犬と対面し、審査員の指示により犬を招呼する。犬は直前に来たら対面停座させ、審査員の指示により脚側停座させる。



G2 の部

①紐付脚側行進

G1 の①の「紐付脚側行進」と同じ。

②紐無脚側行進

G1 の②の「紐無脚側行進」と同じ。

③停座及び招呼

出発地点で脚側停座させ、審査員の指示により、常歩で進み A 地点で犬に停座させる。指導手だけ常歩で C 地点まで進み犬と対面し、審査員の指示により犬を招呼する。犬は直前に来たら対面停座させ、審査員の指示により脚側停座させる。

④伏臥及び招呼

C 地点で脚側停座させ、審査員の指示により、常歩で進み B 地点で犬に伏臥させる。指導手だけ常歩で出発地点まで進み犬と対面し、審査員の指示により犬を招呼する。犬は直前に来たら対面停座させ、審査員の指示により脚側停座させる。

⑤立止

出発地点で脚側停座させ、審査員の指示により、常歩で進み A 地点で犬に立止させる。指導手だけ常歩で進み C 地点で折り返し、常歩で犬のもとに戻り、立止している犬の後ろを回り、右側に立ち審査員の指示により、脚側停座させる。